

福井市学校版環境ISO 実施計画書

福井市長 様

私たちの学校は、恵み豊かな環境を守り未来に引き継いでいくために、環境保全に関する学習、教育及び活動を積極的に行って環境にやさしい学校づくりと生命や自然の大切さを理解し郷土を愛するモラルの高い児童生徒の育成に取り組むための実施計画を作成しましたので、福井市学校版環境ISO認定制度による認定の更新を申し込みます。

令和 3年 5月 17日

学校名 円山小学校

校長氏名 野村 淳一

1 今年度の目標(学校の約束)

- ① 学校で節電・節水・ごみの減量に努めます。
- ② 円山の自然環境や、地球環境について学習します。
- ③ 地域と連携しリサイクルに努めます。

2 取組内容

① 節電・節水・ごみの減量の取組

- ・ごみを分別して捨てるために、教室に二種類のごみ箱を用意する。
- ・各家庭で、環境を守るためにできることは何か考え、夏休みに実践する。

② 環境学習

- ・5年生の総合「リゾット米づくりから環境について考えよう」の学習では、米づくりに適した環境について本やインターネットで調べたり外部講師の話を聞いたりする。
- ・稲の栽培や生長の観察を通して、田んぼが果たす役割について考える。
- ・自分たちでもできる環境にやさしい取組を考え、実践する。

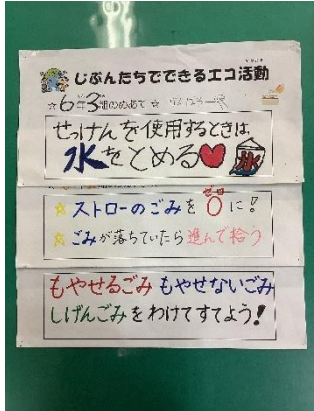
③ 地域と連携した取組

- ・PTA と学校で、年2回の資源回収と年6回の空き缶回収を行う。

★ ESDポイント(取組内容の内、1項目についてESDの視点をどのように取り入れるかを記載してください。)

①の取組では、資源は限られており、大切にしようすることで長く資源を有効に使えることを理解する。

福井市学校版環境ISO 実施報告書

学校名 円山小学校	
1 今年度の目標（学校の約束） ①学校で節電・節水・ごみの減量に努めます。 ②円山の自然環境や、地球環境について学習します。 ③地域と連携し、リサイクルに努めます。	
2 取組内容 ①節電・節水・ごみの減量の取組 - 各教室に、新聞紙を再利用して委員会で作成した「古紙回収袋」を置き、クラスごとに集めた古紙を資源ごみとして資源回収に出した。 4年生社会科の学習において、家庭で出たごみの量を調べ、その後の学習に生かした。 ②環境学習 5年生の総合「リゾット米づくりから環境について考えよう」の学習では、米づくりに適した環境について本やインターネットで各自調べたり外部講師の話を聞いたりした。 - 稲の栽培や成長の観察を通して、田んぼの果たす役割について考えた。 - クラスごとに「じぶんたちでできるエコ活動」のめあてと取組内容を決め、全員でエコ活動に取り組んだ。活動の結果を校内掲示板に掲示した。    ③地域と連携した取組 - P T Aと学校で、年2回の資源回収と年6回の空き缶回収を行った。	
★ ESDポイント（取組内容の内、1項目についてESDの視点を取り入れたポイントを記載して下さい。） ①の取組では、資源は限られており、大切にしようとすることで長く資源を有効に使えることを理解することができました。（有限性）	

3 見直し	【具体的効果】 ①総合的な学習の時間で、米作りを通して実際に自然に触れることで、自然の大切さや有限であることを理解することができた。 ②資源回収では、自主的に家庭でお手伝いに参加する児童もあり、リサイクルに関心をもち、身近な環境を大切に作る心が育ってきた。
	【改善点】 ・資源回収で回収された資源がどのようにリサイクルされ自分たちの生活に役立っているかを知る機会を設けることで、資源回収の意義を学び、資源回収に参加する意識を高めたいです。 ・委員会や係の活動だけでなく、一人一人が環境を意識して日々の生活を送っていくことができるよう、学年に合わせた取組を工夫していきたいです。